

ロイヤルエンフィールド、ブラジルに新しい CKD*工場を開設 南米および北米地域における取り組みを強化

- 南米および北米地域で 3 番目、インド以外では世界で 4 番目のモーターサイクル組立工場
- アマゾナス州マナウスに位置するブラジルの新しい CKD 工場は、主にブラジルおよび中南米地域における長期的な取り組みを強化するもので、2022 年 12 月から操業を開始
- 急成長を遂げているブラジルのロイヤルエンフィールド市場の成長に貢献

2022 年 12 月 7 日、サンパウロ発: 中型モーターサイクルセグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、新しい CKD (コンプリート・ノックダウン) 組立工場の操業を開始し、南米および北米地域、特にブラジル市場における新たな歴史の扉を開きます。これは、中南米におけるロイヤルエンフィールドの事業計画における大きな前進を意味するもので、ロイヤルエンフィールドにとって重要な市場であるブラジル地域に対する取り組みの強化を改めて表明するものです。アマゾナス州の州都マナウスに開設されたこの新しい工場は、インドにある最先端の生産工場に加え、タイ、コロンビア、アルゼンチンに続く、世界で 4 番目の CKD 組立工場です。

年間 1 万 5,000 台以上の組立能力を備えたマナウスの現地工場は、ブラジルにおける需要の高まりに対応する、最先端の近代的な設備を誇ります。この工場では、新型 Classic 350 (クラシック・サンゴーマル)、Meteor 350 (メテオ・サンゴーマル)、Himalayan (ヒマラヤ)、Continental GT 650 (コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)、INT 650 (アイエヌティ・ロクゴーマル) を含むロイヤルエンフィールドの全ラインナップを現地で組み立てます。この新しい工場の開設により、ロイヤルエンフィールドは、ブラジルにおけるモーターサイクルのスムーズかつ迅速な納車を実現することが可能になります。

ロイヤルエンフィールド最高経営責任者 (CEO) の B・ゴヴィンダラヤンは、新工場の開所式で次のように述べています。「ロイヤルエンフィールドは、ミッドサイズ・モーターサイクル・セグメントを世界的に拡大するために、幅広い活動に取り組んできました。現在、南米および北米地域、ヨーロッパ、アジア太平洋などの市場が大きく成長しているため、これらの市場での販売を強化し、事業を成長させることが重要な課題となっています。私たちは数年前にこの取り組みを開始し、戦略的な組立工場をタイ、中南米のアルゼンチンとコロンビアに開設しました。ブラジルはロイヤルエンフィールドにとって非常に重要な市場であり、近い将来、インド以外では最大の市場になると見込まれています。ブラジルでは、2019 年以降 100% を超える成長率を記録しました。ここブラジルで、世界で 4 番目の CKD 工場を立ち上げることができて大変嬉しく思います。この工場の開設は、この地域と市場が大きな可能性を秘めていることの証であり、この市場におけるモーターサイクル・ファンのコミュニティに対して私たちの真剣な取り組みを示すものです。この工場は、ブラジルにおけるミッド・セグメント市場の成長に貢献すると同時に、工場が稼働することによって増大する需要に効率的に対応できるようになると確信しています。」

ブラジルは、2017 年に進出して以来、ロイヤルエンフィールドにとって重要な市場となってきました。ブラジル国内だけでなく、南米および北米地域全体で大きな躍進を遂げたロイヤルエンフィールドは、ブラジル、アルゼンチン、コロンビア、メキシコ、北米といった市場におけるミッドサイズ・モーターサイクル・セグメントのセールスでトップ 5 の地位を確立しています。この新しい現地組立工場は、この地域の急成長する消費者基盤と充実した販売ネットワークに支えられ、中南米地域における事業の発展にさらに貢献することになるでしょう。

ROYAL ENFIELD

<ロイヤルエンフィールド社について>

ロイヤルエンフィールドは、1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ちますが、1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは、魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちが Pure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、新型クーラー「メテオ 350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「コンチネンタル GT650」、アドベンチャーツアラー「ヒマラヤ」、アイコンニックな単気筒モデル「クラシック 350」などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは、各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し、何千人ものロイヤルエンフィールドファンが集まる「ライダーマニア」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤン・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,100以上の販売ディーラーを、また世界60カ国以上に約850の販売ディーラーを展開しています。またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランディングソープとインドのチェンナイの2箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの2箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、タイ、アルゼンチン、コロンビアの3ヶ所に最新のCKD(コンプリート・ノックダウン)組立施設を有しています。過去5年間のCAGR(年平均成長率)は37%以上、2021-22年の国際市場での売上は前年比108%増と、ロイヤルエンフィールドは世界の中型モーターサイクル市場をリードしています。

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は、下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.royalfield-tokyoshowroom.jp/>

※CKD(コンプリート・ノックダウン): 製造国から車両すべての部品を輸入し、現地で組み立てて完成車とする方法です。

製品に関するお問い合わせ先

ピーシーアイ株式会社(ロイヤルエンフィールド正規輸入販売会社)

E-mail: press@pci-ltd.jp

報道関係者のお問い合わせ先

Royal Enfield 日本 PR 事務局(アソビバ合同会社内) 担当: 三屋(みつや)050-5604-0821

TEL: 03-4572-0690 royalfieldjpn_pr@asovivapr.com